

新除草・調節剤

本剤は水溶性を適度に調節し、滲透力の高いベンジルトクエタノールアンモニウム塩（第4級アンモニウム塩）の形になっている新規MCP塩で、従来のMCP塩類に比べ $\frac{1}{2}$ ～ $\frac{1}{4}$ 程の成分薬量で、水稻刈取り後並びに田植1ヶ月前の春処理でマツバイ、広葉雑草に極めて高い殺草力を示し、かつ速効的に殺草する。又低温条件下でも効果の低下が見られない。土壌中の移行が大きい性質をもっている。土壌（作土）中に残存することなく溶脱、流亡、分解されるため、土壌中での残留期間は比較的短い。したがって次作の水稻に対する安全性は高い。使用場面は、全国を対象として、水稻刈取り後の秋処理、春季マツバイ再生後（田植約1ヶ月前）の春処理に使用できる。

MO-502粒剤

（取扱会社）

三井化学工業株式会社

本剤の主成分は2,4,6-トリクロルフエニル-4'-ニトロフエニルエーテル6%（MO-838）と2,4-ジクロル-6-フルオルフエニル-4'-ニトロフエニルエーテル1%（MO-500）と2-メチル-4-クロルフエノキシ酢酸0.8%（MCP）の3種の混合剤である。

本剤の基本的作用特性は、本誌第1号で紹介したMO-401粒剤に殆んど同じである。

3種混合した目的は、MO-401の処理適期幅の狭い欠点を補うために、接触的作用力のやゝ大きいMO-500を混じ、処理適期幅を拡大したものである。したがって、ノビエ、コナギなどイネ科、広葉の1年生雑草に対する殺

草力が高くなったほか、マツバイにも有効など全草種に対し適用性が広いとされる除草剤である。

使用場面は、暖地普通期水稻を対象とし、ハイカット粒剤の適用地帯での使用が可能とされている。

NC-263粒剤

（取扱会社）

日本カーバイド工業株式会社

本剤の主成分はペンタクロルフエノールカルシウム複塩二水化物（PCP-Ca）30%と2-メチル-4-クロルフエノキシ酢酸ナトリウム（MCP-Na）0.75%と2,6-ジクロルチオベンズアמיד（DCBN）0.75%の3種の混合剤である。

本剤の作用特性は既に夫々の単剤で知られている通りである。混合剤化した目的は、夫々単剤の長所と欠点を相補なわんとしたものである。したがって水稻への薬害形成作用は著しく軽減され安全性が高まった。また、対象雑草の種類もイネ科、広葉の1年生雑草に効果が大きいほか、マツバイにも有効など、全草種に対し極めて効果があり、適用性の広い除草剤である。

使用場面は、水稻移植後の土壌処理法で、北海道を除く全地域のP・P12除草剤の使用地帯での使用が可能とされている。

本号に掲載した薬剤の使用方法については、引き続き次号に掲載いたします。